

⚠️ 安全上のご注意

当社の商品は刃物です。使用方法によっては危険な状態が発生する場合があります。安全上のご注意をよくお読みの上、常識的な取り扱いをしてください。使用条件等ご不明な点は当社にご確認ください。

△ 警告 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容

△ 注意 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽傷を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

⚠️ 警告

下記の事項を守ってください	守られない場合	下記の事態が想定されます	備考
取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には使わせないでください。商品を人に貸す場合は、取扱説明書も共に貸し出してください。	商品の取扱説明書・警告ラベルの指示通りの取り扱いをされないと	けがをする危険があります。	
電動工具の取り扱いは電動工具の取扱説明書の指示通りにしてください。	電動工具の取扱説明書の指示通りの取り扱いをされないと		
製品の改造や分解は絶対にしないでください。	改造や分解をされると	製品が正しく動作しない、又は使用中に外れて、けがをする危険があります。	
取扱説明書に記載している部品類は、すべて正しく取り付けて使用してください。	正しく取り付けていないと		
保護眼鏡を着用してください。	穴あけにより発生する切粉により	失明する危険があります。	
マスクを着用してください。		呼吸器障害を引き起こす危険があります。	
使用区分に合った保護帽を着用してください。	保護帽を着用していないと	けがをする危険があります。	
騒音の大きい作業では、イヤーマフなど防音保護具を着用してください。	騒音により	難聴になる危険があります。	
ズボンの裾、衣類の袖は広がった状態にしないでください。	ズボンの裾、衣類の袖が広がっていると	刃物に巻き込まれ、けがをする危険があります。	
ネクタイ、首にタオルなどは取り外してください。	ネクタイ、首にタオルなどをしていると		
長髪は帽子やヘアーカーパーで覆ってください。	長髪が		
軍手を着用しないでください。	軍手を着用していると		
回転中の刃物には手を触れないでください。	回転中の刃物に手を触れると		
電動工具は、チップソー安全カバー・材料反発防止装置を正しく取り付けた状態で作業を行ってください。	安全装置を取り付けた状態で作業をされないと	刃物の破損、被切削物の反発などにより、けがをする危険があります。	チップソー・ダイヤモンドの場合
刃物の回転中は切粉を取り除かないでください。	刃物回転中に切粉を取り除くと	切粉、刃物により、けがをする危険があります。	
電動工具を両手で確実に保持してください。	電動工具を確実に保持していないと	電動工具に振り回された場合、けがをする危険があります。	
足をしっかりとさせ、バランスを保って作業を行ってください。	無理な姿勢で作業を行っている		

警告

下記の事項を守ってください	守られない場合	下記の事態が想定されます	備考
穴あけ対象物に対し、まっすぐに穴あけをしてください。	穴あけ対象物に対し斜めに穴あけをすると	電動工具に振り回された場合、けがをする危険があります。	
電動工具を保持する体力のない人は使用しないでください。	電動工具を保持する体力がないため		
クラッチ付電動工具を使用してください。	刃物が噛み込みを起こすと	穴あけ対象物が動いて、けがをする危険があります。	
穴あけ対象物はクランプ・万力などでしっかり固定してください。	穴あけ対象物がしっかり固定されていないと		
回転のみで使用してください。	振動・打撃で使用すると	刃物が破損し、けがをする危険があります。	回転専用の刃物の場合
使用前に刃物の点検を十分に行い、損傷があれば絶対に使用しないでください。	刃物に損傷した部分があると		
二重絶縁機能の備わった電動工具、感電防止用漏電遮断装置の設置された電源を使用してください。	万が一漏電した場合	感電する危険があります。	水を使用する場合
ゴム長靴、ゴム手袋を着用してください。			
高所作業では安全帯を着用してください。	安全帯を着用していないと	高所作業で墜落する危険があります。	
電動工具、切削片、カッター、センタードリル、センターピンの落下防止処置をとると共に、作業現場には第三者の立ち入りを制限してください。	高所作業で電動工具、切削片、カッター、センタードリル、センターピンが落下すると	第三者に、けがをさせる危険があります。	
製品の着脱を行う場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。	スイッチが切れていなかったり、プラグをコンセントから抜いていないと	電動工具が作動し、けがをする危険があります。	

注意

下記の事項を守ってください	守られない場合	下記の事態が想定されます	備考
刃物は穴あけ対象物に適したものであることを確認してください。	適していないと	刃物が破損し、けがをする危険があります。	
穴あけ対象物又は被切削材に適した回転数、送り量で作業を行ってください。	回転数、送り量が適切でない	穴あけ対象物、被切削材又は刃物の破損により、けがをする危険があります。	
穴あけ貫通間際から押す力を弱め、貫通時の突っ込みに十分注意してください。	力を弱めない場合	貫通時の突っ込みで、けがをする危険があります。	
刃物、センターピン、センタードリルなどの着脱は素手で行わないでください。	素手で行うと	刃先などにより、けがをする危険があります。	
切粉を取り除く場合は素手で行わないでください。		切粉によりけがや、やけどをする危険があります。	
穴あけ後の刃物に素手で触れないでください。	素手で触れると	やけどをする危険があります。	
使用しない場合、子供の手の届かない場所に保管してください。	子供が触った場合	けがをする危険があります。	

